

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 1月

福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 添田周

■ 研究課題名

女性骨盤外科解剖の学際的検討

■ 研究期間

2023年1月 ～ 2028年2月

■ 研究の目的・意義

骨盤の中では、消化器外科、泌尿器科、婦人科、整形外科など、さまざまな診療科の医師が手術を行っている。しかし、同じ場所や構造であっても、診療科によって呼び方や捉え方、手術の進め方が異なることがあります。本研究では、CST（カダバーサージカルトレーニング：遺体手術トレーニング。献体遺体で行う手術手技の修練を目的とした解剖実習のこと。）の研修を通して、各診療科で行われている骨盤の手術を比較し、それぞれの診療科が骨盤の構造をどのように理解しているのかを整理することを目的としています。また、骨盤の内側と外側の構造がどのようにつながっているのかについても確認し、診療科が異なっても共通して理解できる骨盤解剖の考え方をまとめます。この研究により、診療科を越えて骨盤の構造について理解を共有できるようになることで、医師同士の連携がより円滑になり、複雑な手術や複数の診療科が協力して行う手術を、より安全かつ確実に行うことにつながると期待されます。

■ 研究対象となる方

福島県立医科大学志らぎく会による献体の手続きでご承諾を頂いている献体をご提供して下さった方が対象です。

■ 研究の方法

本研究では、CST（カダバーサージカルトレーニング）において、消化管外科では低位前方切除、泌尿器科では膀胱切除、婦人科では子宮全摘出術を想定し、それぞれの術式に準拠した骨盤

内の剥離操作を行います。

各診療科の手術手技により形成される索状物、層、間隙について詳細に観察し、同一または連続する解剖学的構造が各診療科でどのように認識・命名されているかを整理します。そのうえで、診療科間における解剖学的用語および手術解剖の対応表を作成します。

さらに、大坐骨孔周囲については整形外科とも連携し、骨盤内外からの到達経路や周囲構造との位置関係を検討します。これにより、消化管外科、泌尿器科、婦人科に加えて整形外科の視点も取り入れた、骨盤内外の連続性に関する理解を深めます。

また、剥離操作の過程を写真および動画として記録し、消化管外科、泌尿器科、婦人科、整形外科で情報を共有・検討します。これにより、各診療科の視点を反映した、より完成度の高い骨盤外科解剖の対応表を作成することを目指します。

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学産科婦人科学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学産科婦人科学講座 添田周です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長鈴木弘行です。

研究責任者 産科婦人科学講座 教授 添田 周

研究分担者 産科婦人科学講座 助手 加茂 矩士

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関への提供の予定はありません。

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当：加茂 矩士

作成日：2026年 4月30日（第3版）

電話：024-547-1290 FAX：024-548-3827

e-mail：k0810@fmu.ac.jp